

平成 31 年度 学校経営環境分析書

吉浦中学校区 校番 15 学校名 吉浦中学校

1 学校の内外環境の分析 (太字は中学校区共通の内容)

外部環境	<p>O (支援的要因)</p> <p>①多くの地域住民・地域組織が協力的であり、学校への支援内容も充実している。 ②地域独自の伝統や文化(祭り等)が豊富で、学習素材が多い。</p>	<p>S (強み)</p> <p>①中学校区が1中学校1小学校で連携しやすく、共通理念に基づいた小中一貫教育を進めている。 ②授業のユニバーサルデザイン化、グローバル教育推進を軸とした9年間の系統的・継続的な学習の取組ができています。 ③学習規律が守られ、落ち着いた授業ができるようになってきている。 ④部活動に意欲的に取り組む生徒が多い。</p>	内部環境
	<p>T (阻害的要因)</p> <p>①小学校が離れており、児童生徒の交流が容易ではない。 ②校区が広範囲に渡っている。 ③地域内に急傾斜地が多いため大雨の際、土砂災害が心配される。 ④校区内の交通量が多く、道幅が狭く坂が多いため、交通事故が心配される。 ⑤保護者の価値観・考え方が多様で、協力が得られにくい家庭がある。</p>	<p>W (弱み)</p> <p>①基本的な生活が身に付いておらず、社会性が育っていない生徒がいる。 ②家庭学習習慣の定着が不十分である。 ③人間関係において、いっしょに協力しあうことができないことがある。 ④学力調査において、3年生は全国平均を3教科とも下回っている。 ⑤時間外勤務時間が100時間を超える教職員がいる。</p>	内部環境

支援的要因と強みを生かした活動・取組は

★★★確かな学力
(1)小中一貫教育の推進(授業のユニバーサルデザイン化・グローバル教育の推進)
★★豊かな心
(1)小中一貫道徳教育の充実(地域人材・文化等の活用)

★★★確かな学力
(1)「課題発見・解決学習」の充実
(2)指導方法・教材の工夫
(3)個別指導の実施
(4)家庭学習定着のための工夫
★★豊かな心
(1)協働できる力の向上(特別活動・教育相談の充実)
★業務改善
(1)生徒と向き合う時間の確保(会議時間の短縮・行事の精選や実施方法等の改善)
(2)長時間勤務の削減

阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は

2 重点課題

- ★★★ 確かな学力(「課題発見・解決学習」の充実、授業のUD化の推進、指導方法・教材の工夫、個別指導の実施)
- ★★ 豊かな心(小中一貫道徳教育の充実、肯定的評価の実施、郷土愛を育む取組の実施)
- ★ 業務改善(生徒と向き合う時間の確保、長時間勤務の削減)